

あ と が き

<編集顧問> <編集委員>

越智隆弘	糸満盛憲
小野啓郎	荻野利彦
竹光義治	菊地臣一
守屋秀繁	黒坂昌弘
山室隆夫	清水克時
矢部 裕	高岸憲二
	富田勝郎
	戸山芳昭
	吉川秀樹

<編集同人>

井形高明	澤村誠志
生田義和	杉岡洋一
井樋栄二	田辺剛造
岩田 久	田畑四郎
岩本幸英	玉置哲也
大井利夫	中村耕三
小野村敏信	馬場久敏
加藤博之	浜西千秋
金田清志	廣谷速人
黒川高秀	佛淵孝夫
腰野富久	三笠元彦
紺野慎一	三浦隆行
櫛田喜三郎	持田讓治
酒 匂 崇	山田治基
桜井 実	吉川靖三

サブプライム問題でアメリカの経済に不安がもたらされ、世界中の株が暴落している。ガソリンの値段が不安定に変化したり、日本の総理大臣は1年も仕事をしない間に次々と辞任をしてゆくという世の中で、何を信用して生活していけばよいのか不安になる。仕事に追われて、筆者はこの文章をフランス出張の際に書いているが、何の影響かわからないが、円がユーロに対して高くなり、バーで飲む一杯のビールが安くつき、どこから幸運が巡ってくるのかわからないなと不思議な気分になる。

臨床研修制度が変わって、都市部以外の病院に研修医や医師が勤めなくなり、社会問題に発展しているのは明らかに厚生労働省の官僚の政策の問題である。不安定な世の中で、医療の偏在が起こっては、後期高齢者の方々が多く住んでおられる地域の国民もたまったものではない。そこで、閉院に追い込まれつつある公的病院に、大学から医師を派遣してもらうように、税金を投入して問題を解決しようとしている都道府県も現れていると聞く。地方自治体の長が自分の在任期間中に病院が閉院になることを恐れ、なりふり構わない政策を展開している端的な例である。また、医学部の学生を増やせば、今の医師の偏在は解消できるという、極めて安易で短絡的な政府の考えに、あまりにもお粗末な国の基本的な官僚システムを見てしまい、非常に不安を感じざるを得ない。良い面も、悪い面も含め、古い大学の医局の体質は崩れているのかもしれない。しかし、そのことにより生じている現在の深刻な問題は、さらに増加する新しい医師の数により、将来ますます拍車がかかっていくのは、当然の帰結のような気がしてならない。10年後には、医師の数は増えるが、基礎医学者の数は激減し、司法解剖などする医師もいなくなる。勤務医の生活が大きく改善されるとは思えない。その時に、また行き当たりばったりに、政策を変えていくだろう日本の医療システムが目に見えるような気がする。

夢も希望もない文章になってしまったが、若い整形外科医の中には、新しい医療を目指し、世界に先駆けた仕事を展開している人材も多くいる。本誌への投稿論文を読むと、something new を求めて頑張っている多くの人材が途切れることなく努力を続けていることに勇気づけられる。今から10年先の指導者は、われわれの世代よりずっと厳しい現実と直面する可能性があるが、少しでも夢のある、大学、病院、整形外科学会になるようにはどうすればよいかと自問自答する毎日である。

(黒坂昌弘)

臨床整形外科 (第43巻 第11号)

2008年11月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

2008 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(配送料弊社負担)

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株)

電話 (03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社

電話 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。